

## 学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	高橋 知
学位の種類	博士（工学）
学位記番号	都市博甲第2490号
学位授与年月日	2024年3月25日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	エコミュージアム参加者の居住地域に関する意識についての研究－神奈川県茅ヶ崎市における活動を事例として－
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 大原 一興 横浜国立大学 教授 高見沢 実 横浜国立大学 教授 大野 敏 横浜国立大学 教授 田中 稲子 横浜国立大学 准教授 藤岡 泰寛

## 論文及び審査結果の要旨

本論文は、住民と住民、住民と地域環境との関係性が希薄化し、さらなる高齢化の進行が問題となる郊外住宅都市において、個々の住民の地域への愛着を醸成し、地域コミュニティの再構築につなげることができる、エコミュージアムの学習活動のあり方とその実践の効果について考察したものである。

本論文は全5章で構成されている。

第1章では、研究の背景、目的と方法について述べている。エコミュージアムはこれまで我が国では主として中山間地域での活動が実践されてきたが、ここでは都市住宅地における可能性について述べ、既往研究の整理の上、研究対象地として神奈川県茅ヶ崎市を選定する理由等について述べている。

第2章では、茅ヶ崎市でこれまでに実際に行われてきたエコミュージアムの学習活動の実践を振り返り、20年間にわたる試みとそれらの効果等について考察した。茅ヶ崎市における特色として、その学習プログラム、住民同士の交流と協働の空間、経験と楽しさを通じた地域の総合的理解などの重要性を示している。

第3章では、茅ヶ崎市でのエコミュージアム活動の参加者約100名に対し、質問紙による居住地域に関する意識を調査し、市民意識調査の結果との比較による分析を行い、郊外住宅都市における活動参加者の特性と、学習活動への参加による効果の全体像を明らかにし、段階性をもつことなどが分かった。

第4章では、茅ヶ崎市におけるエコミュージアム活動のキーパーソン7名へのインタビューにより、その「語り」についての計量テキスト分析を行い、それぞれの学習活動経験から得られた効果の共通性と個人による違いについて把握した。重要な点は、住民相互のつながりで、これは人材づくりや知識の集約、環境や世代継承への意識などに結びつく効果が得られている。

第5章では、第2章から第4章で報告した結果と考察を踏まえ、住民ひとりひとりの地域で暮らす喜びや実感、地域への愛着を醸成し、地域コミュニティの再構築につなげることができるエコミュージアムの学習活動のあり方と期待される効果について述べている。

これらは、都市住民にとっての地域意識の形成に関して、エコミュージアムのプログラムの社会教育、学習的な側面を明らかにしており、とくに貴重な実践の成果は示唆に富み、都市部住民への都市工学的関わり方のひとつとしてのエコミュージアムの意義を明らかにした研究であり、これからの地域住民の意識形成と文化資源の継承の方法のひとつの方向性を表したものであるとして、博士（工学）の学位請求論文として十分な価値を持つと認める。

なお、iThenticateによるチェックを行ったが、著者の既発表論文以外の重複はほとんど無く、論文剽窃等の問題は認められなかった。

(試験の結果の要旨)

・令和6年2月7日(水)午後5時45分より約1時間、建築学棟1階大会議室において、審査委員全員出席の下に、高橋知氏の学位論文発表会を公聴会として開催し、学位論文についての口頭発表40分および質疑応答25分がおこなわれた。同午後6時50分より審査員のみで同会議室において審査委員会を開催し慎重審議の結果、本論文の内容は博士(工学)の学位論文として十分な内容を有していることを審査委員全員一致で確認し合格と判定した。質疑応答の内容から、関連分野の専門的知見や分析能力などを確認し、学位論文に関連する建築学とまちづくりの分野を中心として、博物館学、教育学、文化財保護やコミュニティ形成などに関する総合的な視点からの学術分野において博士(工学)の学位を得るにふさわしい学力を有すると判定した。修了に必要な単位はすでに取得済みである。

・外国語の能力に関しては、本論文の要旨および査読論文において英文概要を執筆していることなどから、英語能力に関する学力は十分であることを認めた。

・この論文の内容の一部を以下の通り、査読付き論文2編(うち1編は年度内掲載決定)他として発表しており、1編以上の査読論文の学位取得条件を満たしている。

- 1) 高橋 知, 大原 一興, 藤岡 泰寛, エコミュージアム参加者の居住地に関する意識についての研究, 日本建築学会計画系論文集, 2023, 88 巻, 813 号, p. 2932-2941、(査読有り)
- 2) 高橋 知, 神奈川県茅ヶ崎市におけるエコミュージアム参加者が活動経験から得られる効果について ~参加者インタビューの計量テキスト分析から~, 2024、エコミュージアム研究、第29号、202.3 掲載決定、(査読有り)
- 3) 高橋 知, 「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」の試みー都市型エコミュージアム・市民協働による実践の記録ー, 2017, 茅ヶ崎市文化資料館・文化資料館研究報告第26号・45-50 頁 (査読無し)

・以上により、高橋知氏の最終試験は合格であると判定した。  
(以上)

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。